

公益財団法人沖縄県畜産振興公社
経営計画
(令和6年度～令和13年度)

公益財団法人 沖縄県畜産振興公社
令和6年4月

目 次

| | 頁 |
|-------------------------|---|
| 1 はじめに | 1 |
| (1) 公社の沿革 | |
| (2) これまでの取り組み | |
| (3) 経営計画策定の趣旨 | |
| (4) 計画期間 | |
| 2 計画方針 | 4 |
| (1) 経営理念 | |
| (2) ビジョン | |
| (3) 運営方針 | |
| 3 取り組み内容と成果指標 | 5 |
| (1) 事業展開 | |
| (2) 公社運営 | |
| (3) 成果指標及び職員配置計画等 | |
| 4 進行管理 | 8 |

1 はじめに

(1) 公社の沿革

公益財団法人沖縄県畜産振興公社は、対外競争力の乏しい県内畜産農家の保護育成、並びに本土復帰による様々な新しい制度への移行措置に伴う沖縄の特殊性からくるデメリット対策として、県議会、市町村議会、農業団体、生産者団体等県内各界の要請をうけ、財団法人沖縄県畜産公社として昭和51年3月に設立された。

その後、社団法人沖縄県畜産物価格安定基金協会(平成10年4月1日統合)、社団法人沖縄県畜産会(平成24年3月1日合併)との整理統合を経て、公益法人制度改正の下で平成25年4月1日に現体制となっている。

当公社は、家畜及び畜産物の価格安定対策、生産振興、流通合理化、畜産経営体の経営安定、生産性向上及び家畜防疫に関する事業と共に、畜産物の消費促進に関する事業を行い、もって畜産及びその関連産業の健全な発展を促進し、併せて県民の食生活の安定的向上・維持に寄与することを目的に、業務を遂行している。

(2) これまでの取り組み

平成26年度から「公益財団法人沖縄県畜産振興公社経営計画」を策定し、計画に基づく畜産振興及び公社運営業務に取り組んできた。

しかしながら、国の超低金利政策が継続し、基本財産、諸勘定基金の運用益は、引き続き厳しい状況が続いている。また豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の発生や新型コロナウイルス感染症の拡大、配合飼料価格等の資材高騰は、畜産経営の継続に大きな影を落としている。

その中で、当公社は、県や団体等の連携し、畜産振興に資する事業の推進と共に経営の改善に努め、その実績として、沖縄県食肉価格安定等特別対策事業の実施による家畜の生産・流通の基盤整備や沖縄県畜産振興センターの建設に伴う業務の効率化、職場環境の改善など図られた。

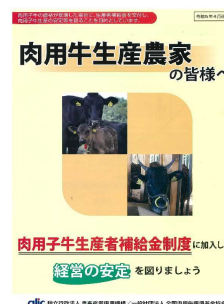
【具体的な取り組み事例】

①事業

○家畜価格安定対策関連(継続)



補給金等の説明会



パンフレット

○沖縄県食肉価格安定等特別対策事業(H23～27)



牛専用飼料製造施設



肥育豚舎及び付帯施設



離島食肉センター(宮古・八重山)



家畜セリシステム(県内全8市場)

○県産食肉等消費促進対策事業(継続)



〔食肉版〕



〔卵版〕

「ま〜さん印」ロゴマーク



「花と食のフェスティバル」における販促活動(ま〜さん市場)

○ま～さん印 使用承認者数推移

(件)

| 年 度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 件 数 | 10 | 15 | 23 | 27 | 33 | 33 | 36 | 39 | 40 | 43 |

○家畜防疫互助基金支援事業



豚熱発生農場 3 戸に経営再開に資する互助金を交付(R 2)

②運営

○沖縄県畜産振興センター建設(H 2 6)



○業務執行体制の推移

当会社の職員数は、常勤役員 2 名(県派遣)を除き、平成 27 年度まで 12 名(県派遣 4 名、プロパー職員 8 名)となっていたが、平成 27 年度の沖縄県食肉価格安定等特別対策事業修了に伴い、平成 28 年度から県派遣職員 2 名の削減が行われた。

その後、平成 29、30 年度に 1 名ずつの定年退職があったことから、平成 29 年度に組織の活性化及び事業量の増加等に対応することも含め 2 名のプロパー職員の新規採用を行った。

令和 4 年度に 1 名の定年退職があったことから令和 5 年度に 1 名の新規採用を行い、職員数 10 名(県派遣 2 名、プロパー職員 8 名)の体制となっている。

《年度別職員の推移》

(単位：人)

| 年度末 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 (H31) | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|----|----|----|----|
| 常勤役員 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 正職員 | 12 | 12 | 10 | 12 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 県派遣 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| プロパー | 8 | 8 | 8 | 10 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| うち採用者 | | | | 2 | | | | | | 1 |
| うち退職者 | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 |
| 嘱託・臨時 | 9 | 9 | 8 | 8 | 9 | 11 | 11 | 11 | 10 | 8 |
| 合計 | 23 | 23 | 20 | 22 | 22 | 23 | 23 | 23 | 22 | 20 |

○年度別計上収支（H26～R4年度）
別記

(3) 経営計画策定の趣旨

畜産経営が厳しくなるなか、家畜・畜産物の価格対策、農家の高齢化へ対応、畜産環境問題、海外輸出支援など従来からの取り組みに加え、デジタルトランスフォーメーション(DX)や観光産業との積極的な連携、SDGsを考慮した取り組みなどが必要となる。

また当公社運営においても資産運用益の大幅な増加が見込めない状況の中、収入の安定確保、支出の見直しによる経費の節減、組織及び職員数の適正化を図りつつ、事業規模に見合った公社組織を整備すると共に、職員のスキルアップ等を行い、円滑な事業推進を図るため経営計画を策定する。

(4) 計画期間

令和6年度～令和13年度（8年間）

計画4年目（令和9年度）を目途に、中間見直しを行うこととする。

2 計画方針

(1) 経営理念

家畜及び畜産物の価格安定対策、生産振興、流通合理化、畜産経営体の経営安定、生産性向上及び家畜防疫に関する事業とともに、畜産物の消費促進に関する事業を行う。

(2) ビジョン

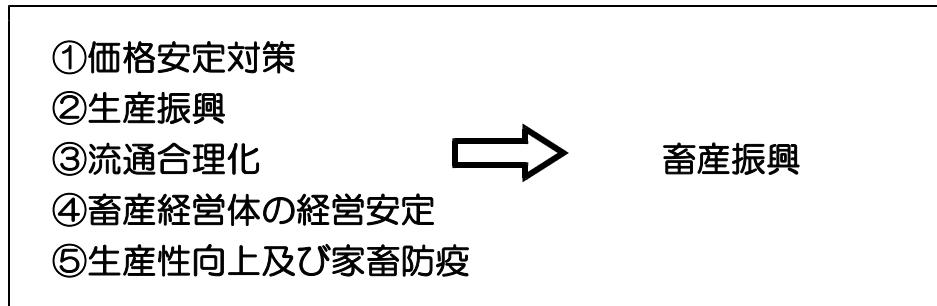
取り巻く環境の変化の中、経営基盤の強化を図り、畜産及び関連産業の健全な発展促進、もって県民の食生活向上・維持に寄与する。

(3) 運営方針

沖縄県の作成した「新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（令和4年度～13年度）」の目標「徹底したおきなわブランドづくりの推進による『魅力と活力のある持続可能な農林水産業』」の実現を目指す県畜産行政を補完・代替・支援する役割を発揮することにより、本県畜産業の持続的発展に資する。

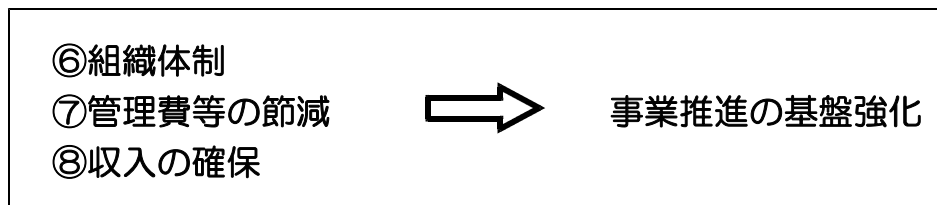
【方針1】

畜産経営が厳しさを増す中、既存事業の適切な実施と併せ、県や団体等と連携し、自主財源を活かした独自事業の検討・実施。



【方針2】

継続した畜産振興施策の推進を図るため、発展的な公社運営を目指し、組織及び管理体制の強化、安定的な収入確保策等の基盤強化を図る。



【方針3】

あらゆる機会を捉えた情報発信力を強化し、実施事業や経営情報など公社の取り組みの認知度向上を図る。

3 取り組み内容と成果指標

(1) 事業展開

①価格安定対策

○継続的な取り組み

- ・「肉用子牛生産者補給金」「肉用牛肥育経営安定交付金制度」「肉豚経営安定交付金制度」の実施

●重点的な取り組み

- ・「沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業」など県独自の事業継続に向けた連携協力。

②生産振興

○継続的な取り組み

- ・全国和牛能力共進会（次回：北海道大会 令和9年度）への支援
- ・沖縄県畜産共進会への取り組み（事務局の設置、負担金支出）

●重点的な取り組み

- ・農家や家畜の減少への対策として優良な種畜の導入支援事業への対応
- ・県畜産共進会のあり方の検討(運営・予算確保)

③流通合理化

○継続的な取り組み

- ・「沖縄県農林水産物販売促進協議会畜産部会」「沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会」などの事務局運営
- ・「いい肉の日」「まーさん市場」の開催などを通じた「県産食肉等消費促進対策事業」による消費拡大

●重点的な取り組み

- ・「ま～さん印」の使用事業者拡大対策、消費者の県産食肉等の優先購入への誘導。

④畜産経営体の経営安定

○継続的な取り組み

- ・畜産経営コンサルト団の設置による畜産経営指導
- ・「肉用牛経営安定対策補完事業」によるヘルパー利用組合や肉用子牛購買者への支援
- ・「畜産特別資金等推進事業」による借受者指導

●重点的な取り組み

- ・畜産経営コンサルト団の機能強化(スキルアップ研修の受講など)
- ・県（家畜保健衛生所、普及センター等）やJA等との指導業務の連携強化

⑤生産性向上及び家畜防疫

○継続的な取り組み

- ・「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(クラスター事業)」による機械導入支援
- ・「県産肥育牛ブランド力強化事業」による県産肥育素牛の導入支援
- ・「家畜防疫・衛生指導対策事業」による防疫演習への支援
- ・「獣医師養成確保修学資金事業」による獣医師確保対策

●重点的な取り組み

- ・県、団体等と連携したクラスター事業の円滑な推進に向けた検討
- ・修学資金事業の有効活用及び補完的事業構築(県)への協力
- ・県、共済組合等と連携した産業獣医師の機動的な確保対策

◎事業展開全般

①～⑤の施策においては、地域の課題を掘り起こしつつ、新規事業の展開を検討する。但し、国や県事業との整理・連携、また支援が他の地域への優良事例となることや県内全地域に効果が波及する事を考慮する。

(2) 公社運営 ※方針の番号と一致させるため⑥から記載

⑥組織体制の強化

○継続的な取り組み

- ・新規採用を含む年齢構成の平準化
- ・県に準じた労働・職場環境の充実
- ・畜産総括コンサルタントなど資格取得し、業務への効果に応じた手当等の創設。
- ・増加、高度化する業務への対応(経験年数、配置転換)
- ・全国協会などが開催する研修などへの積極的な参加

●重点的な取り組み

- ・県などを参考にした人事評価(能力、業績)の導入検討
- ・県への派遣研修などキャリアアップの取り組み検討
- ・法人組織としてコンプライアンスの徹底やリスクマネジメントなど、ガバナンス体制強化のため諸規程等の改定・整備及び理解促進

⑦財政基盤の安定化

○継続的な取り組み

- ・県からの人的支援の継続
- ・事業量に応じた適正な人員(正職員、臨時、任期付)による経費措置

●重点的な取り組み

- ・事務作業工程の見直し、DXの導入検討などによる作業の効率化

⑧収入の確保

○継続的な取り組み

- ・資産運用検討委員会での安全かつ効率的な資産運用
- ・中央団体や県などから委託事業の受け入れ

●重点的な取り組み

- ・不動産資産の有効活用(会議室、駐車場)
- ・入居フロア賃借料の検討

(3) 成果指標及び職員配置計画等

○成果指標

| 成果指標 | 単位 | R4年度 (現状) | R9年度 (目標) | R13年度 (目標) |
|-------------|------|--------------|--------------|---------------|
| 家畜頭数(肉用牛・豚) | 家畜単位 | 111,984 | 128,884 | 135,834 |

○年度別職員の配置計画

(単位：人)

| 年度末 項目 | R5 (現年) | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 |
|-----------|------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 常勤役員 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 正職員 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 県派遣 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| プロパー | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| うち採用者 | 1 | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| うち退職者 | 1 | | 1 | | | | | 1 | |
| 嘱託・臨時 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 合計 | 20 | 19 | 19 | 19 | 19 | 18 | 18 | 18 | 18 |

※常勤役員を含む県職員の派遣は令和8年度まで県行政管理課「公社等派遣職員人的管理表」に記載済

○総括畜産コンサルタント養成計画 (延べ)

| 年度 | R5 | R9 | R13 |
|----|----|----|-----|
| 人 | 0 | 3 | 6 |

※各都道府県畜産協会等が行う畜産経営支援活動の総括が出来る者を「総括畜産コンサルタント」として認定(中央畜産会)

○ま～さん印」の使用承認者計画 (件)

| 年度 | R5 | R9 | R13 |
|----|----|----|-----|
| 件数 | 43 | 47 | 51 |

4 進行管理

- (1) 計画の着実な推進、目標の達成のための公社職員の十分な理解、組織一体となった取り組みを行う。
- (2) 目標に向けての取り組みについて県との情報共有・連携と併せ、理事会、評議員会において報告する。
- (3) 県や理事会、評議員会からの指導・助言等は、職員へ周知し、検証や課題等について職員自ら意見交換や提案を行うことにより、効果的な事業推進を図る。

公益財団法人沖縄県畜産振興公社 年度別経常収支(平成26年度～令和4年度)

(単位:千円)

| 項 目 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 収益の部 | | | | | | | | | |
| (1)基本財産運用益 | 6,694 | 7,303 | 6,799 | 2,267 | 753 | 618 | 342 | 60 | 5 |
| (2)特定資産運用益 | 134,010 | 122,185 | 80,801 | 80,323 | 87,654 | 75,696 | 88,305 | 111,223 | 113,212 |
| (3)事業収益 | 10,697 | 14,438 | 21,807 | 23,202 | 23,644 | 23,226 | 21,959 | 24,474 | 25,696 |
| (うち支援センター賃貸料等) | 841 | 5,129 | 12,448 | 12,364 | 12,261 | 12,309 | 12,500 | 13,226 | 14,234 |
| (事業契約手数料収益) | 9,856 | 9,309 | 9,359 | 10,838 | 11,383 | 10,917 | 9,459 | 11,248 | 11,462 |
| (4)受取補助金・受託金等 | 2,086,094 | 4,587,463 | 659,856 | 679,251 | 677,660 | 722,540 | 1,190,696 | 689,343 | 623,701 |
| (5)その他収益等 | 5,122 | 5,207 | 5,911 | 4,971 | 6,272 | 4,745 | 8,008 | 4,881 | 5,106 |
| 収 益 計 | 2,242,617 | 4,736,596 | 775,174 | 790,014 | 795,983 | 826,825 | 1,309,310 | 829,981 | 767,720 |
| 2. 費用の部 | | | | | | | | | |
| (1)補助・受託事業 | 2,026,461 | 4,515,614 | 592,545 | 626,898 | 631,910 | 661,031 | 1,129,263 | 623,157 | 560,244 |
| (2)公社独自事業 | 25,226 | 11,908 | 34,762 | 24,797 | 23,579 | 41,712 | 38,980 | 20,413 | 26,345 |
| (3)事業推進費・管理費 | 143,547 | 170,464 | 145,193 | 141,785 | 136,948 | 129,166 | 138,482 | 149,525 | 155,019 |
| 人 件 費 | 119,198 | 124,585 | 88,338 | 97,601 | 92,273 | 83,786 | 91,589 | 99,683 | 95,494 |
| その他事務費 | 24,349 | 45,879 | 56,855 | 44,184 | 44,675 | 45,380 | 46,893 | 49,842 | 59,525 |
| 費 用 計 | 2,195,234 | 4,697,986 | 772,500 | 793,480 | 792,437 | 831,909 | 1,306,725 | 793,095 | 741,608 |
| 投資有価証券評価損益等(売買差益) | △ 161 | △ 189 | △ 228 | △ 4,150 | 2,553 | 590 | 1,016 | 21,785 | 13,599 |
| 当期経常増減額 | 47,222 | 38,421 | 2,446 | △ 7,616 | 6,099 | △ 4,494 | 3,601 | 58,671 | 39,711 |
| 当期経常外増減額 | △ 63 | △ 88,006 | 1,594 | △ 2,070 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産期末残高 | 364,352 | 314,767 | 318,807 | 309,121 | 315,220 | 310,756 | 314,358 | 373,029 | 412,740 |